

作成日：2026年2月22日（第1.0版）

西暦2026年4月～2029年12月に感染症で当院に入院された方へ

「侵襲性感染症の実態を明らかにする多施設研究ネットワーク」への

ご協力をお願い

1 研究の概要

【研究の背景・目的】

薬剤耐性菌による「サイレント・パンデミック」は、現在進行中の深刻な脅威となっています。2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に変更された後、訪日外国人および出国する日本人数は増加し続けており、グローバル化した時代において、国内外を行き来するライフスタイルは限られた人だけのものではなくなっています。微生物は国境を越えて容易に拡散するため、新興・再興感染症や薬剤耐性菌に対する迅速な対策が世界的に求められています。本研究は、通常診療で得られた診療情報と、名古屋市衛生研究所の微生物データを統合しレジストリとして集約することで、名古屋市内における侵襲性感染症の実態を明らかにすることを目指します。感染症法に定められている指定感染症患者の疫学的特性や予後、更に微生物学的特徴や、その分布、更に臨床疫学的特徴、疾病負荷や経済的評価との関連性についても明らかにします。また、本研究を通じて市内の臨床感染症研究のネットワークを構築し、将来のパンデミックが発生した際には、迅速に臨床データを活用して研究成果を上げることができる体制を整備します。

【研究の対象となる方】

2026年4月～2029年12月までに指定感染症（コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌、腸チフス、パラチフス、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症）のために当院を受診・入院した方を対象とします。

【研究期間】

この研究の実施を許可された日から西暦2030年3月31日まで

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使うてほしくない場合も、ご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から除外します。ただし、すでに解析が完了している場合や、個人が特定できない状態に加工している場合等には、ご連絡をいただいても情報を除外できないことがあります。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。この委員会にかかわる規程等は、以下の Web サイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆様へ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

2 研究の方法

この研究では、研究対象の方の診療情報を電子カルテから収集して利用します。共同研究機関において収集した情報は、研究用の電子報告書への入力により名古屋市立大学医学部附属東部医療センターに提供します。衛生研究所で収集した菌株の情報は、電子メールにて東部医療センターに提供します。東部医療センターにおいてデータをとりまとめ、解析を行います。提供された情報は、東部医療センターが責任を持って管理します。

3 この研究で用いるあなたの情報の内容について

この研究では、あなたが指定感染症に罹患されてからの、以下の診療情報を利用します。

- 基本情報（菌種、入院の経緯、初診日、培養採取日と患者の所在、発症日、入院日、退院日）
- 背景情報（性別、生年月、発症時年齢、国籍、透析通院歴、抗菌薬アレルギー歴、入院歴、住居、渡航歴、ICU 入室歴・内視鏡使用歴・手術歴、抗菌薬投与歴、退院時の状態、退院日、退院日のセルフケア能力・腎代替療法(RRT)又は透析の有無、退院後 90 日以内再入院）
- 予防接種歴
- 併存疾患、免疫抑制状態と免疫抑制の種類
- 感染症および臨床経過（原因菌の検出部位、菌血症の有無、感染症の種類、使用抗菌薬の種類・投与開始日・投与終了日、副反応、治療経過と結果）
- 培養採取日のバイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度、酸素投与の有無・投与量）、Pitt 菌血症スコア
- 初診時検査所見項目（検査日、WBC、好中球、リンパ球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板、アルブミン、AST/GOT、ALT/GPT、LDH、CP、クレアチニン）
- 菌株情報（感受性検査、主要な薬剤耐性遺伝子検査等の結果）

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学医学部附属東部医療センターを中心として複数の研究機関が共同で実施します。実施体制は以下のとおりです。

	研究機関の名称	研究責任者	研究機関の長
研究代表機関	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	伊東 直哉 (研究代表者)	林 祐太郎

共同研究機関	名古屋市衛生研究所	柴田 伸一郎	松本 光弘
	名古屋大学医学部附属病院	八木 哲也	丸山 彰一
	名古屋市立大学病院	宮崎 景	郡 健二郎
	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院	伊藤 亮太	錦見 尚道
	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院	富田 ゆうか	佐藤公治
	中部ろうさい病院	猪飼 浩樹	丸井 伸行
	大阪大学医学部附属病院	山田 知美	野々村 祝夫

5 個人情報等の取り扱いについて

情報は、氏名等の個人を特定する情報を削り、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。氏名等とこの符号を結びつける対応表は、提供元となる機関で厳重に管理し、他の機関に提供することはありません。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、その際も、そこに含まれるデータが誰のものであるか特定されることはありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は、令和8年度 研究力強化に係る附属病院群の特色ある取組み支援事業の研究費で実施します。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

また、共同研究機関においても各機関の規程に従い、適切に対応しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。研究の内容については、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産の保護等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究に情報が利用されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

【連絡先】

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター感染症内科

電話番号： **052-721-7171**

(対応可能な時間帯) 平日9時から17時まで

対応者： **伊東直哉**